



「つたえるねっと」
で農作業情報を
随時配信中!

橋本資材センター

……TEL.0736-33-2300

かつらぎ資材センター

……TEL.0736-22-7822

落葉果樹

8月の農作業

※表内の網掛け(□□)の農薬を購入する場合や、毒劇物農薬を購入する場合は必ず印鑑を持参してください。印鑑のない方には販売することができません。

●カキの仕上げ摘果

収穫まであと少しの時期となりました。傷果・小玉果・上向きを日焼けしている果実がないか再度確認してください。

適正着果量による

秀品大玉果づくりに努めましょう

8月は、先月に引き続きカキの仕上げ摘果時期となります。暑い時期の作業になりますので、熱中症にならないよう、こまめに水分補給と休憩をとります。

●刀根早生早期採果対策

◎マルチの敷設(園内の60%以上を目標)

着色を促進するシルバーマルチを8月下旬頃から敷設します。枝が込み合っていて日照条件が悪い園では効果が見込めませんので、徒長枝の整理を必ず行ってください。ただし、新しいマルチを敷設する場合は地上部付近の果実では日焼けを生じる場合がありますので、連日高温の日が続く場合や日差しが強い場合は注意してください。

◎摘葉(全園地を目標)

摘葉はヘタ部の着色促進と黒変果の軽減に対して効果があります。表1を参考に、果実の果色(緑色)が抜け始めた頃を目安に、果実周辺の葉を3〜5枚除去しましょう。ただし日射が強い場合は、日焼け果が発生しますので注意してください。

表1 各品種摘葉開始時期

品種	開始時期
極早生・刀根早生	9月上旬～
普通平核無	9月下旬～
富有	10月中旬～



●樹上脱渋「紀の川柿」生産対策

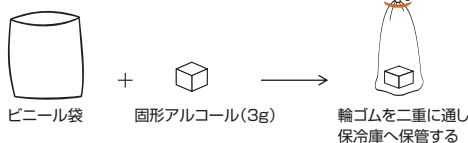
処理適期は、「刀根早生」では8月下旬〜9月上旬、「平核無」では9月上旬〜9月中旬です。あらかじめポリエチレン袋に固形アルコール(商品名:シブートル)を1個入れ、輪ゴム(耐熱性)を二重に通しておきます。事前準備は、作業をする前日までに、保冷庫に保管してください。

作業当日は、ヘタ部分の下と果実との間を輪ゴムでとめ、隙間が無いように袋を掛けるようにしてください。処理時に隙間が空いていると渋果が発生しますので、注意して袋掛けを行ってください。

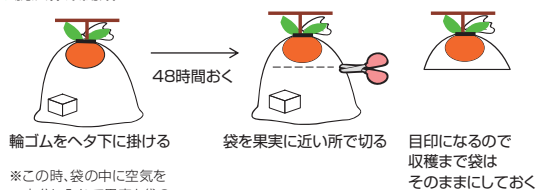
ポリ袋を掛けてから2日(48時間)後にポリ袋をハサミで出来るだけ短く切り、固形アルコールを取り除きます。果実はそのまますぐに成熟させ、刀根早生は10月上旬、平核無は11月上旬に収穫します。

注意点として、脱渋中に雨が降ると、袋の中に雨水が溜まってしまい渋果・黒変果の発生が多くなるので、処理後2日間は降雨がないと思われる日を選んで作業してください。また、脱渋中に雨が降り袋内に水が溜まっている場合は、再度脱渋処理を行ってください。

●事前準備



●脱渋作業開始



※この時、袋の中に空気を十分にに入れて果実と袋の接地面積を減らす



●施肥(10aあたり)

品 種	肥料名	施肥量
モモ収穫後 (8月上中旬)	味一粒状配合 又は 千代田化成549	早 生 60kg
		中晩生 80kg
		早 生 20kg
		中晩生 30kg

●モモ・スモモ礼肥施用について

礼肥は収穫後の樹勢回復・新梢の充実や貯蔵養分を多く蓄積させる効果があります。来年度の樹の生育や収量に関わるため、必ず施用してください。

●ウメ・スモモ収穫後の害虫対策

収穫の終わったウメ・スモモの園地では、ケムシやハダニによる葉の食害と吸汁害が目立ちます。収穫後の葉には、翌年の発芽・開花に必要な貯蔵養分を蓄える重要な役割があります。収穫後の薬剤防除を徹底してください。

●ミカンキイロアザミウマ対策

極早生柿や刀根早生に被害が多く発生し、主に着色初期に果実を加害します。着色初期の薬剤防除を徹底してください。

●側枝ハク皮の枝折れ対策

果実肥大にともない、台風・雨風による枝折れが発生しやすくなります。添竹での補強や枝つり、支柱立て等の枝折れ対策を早急に実施してください。

●病害虫防除

柿の炭そ病は梅雨明け後の高温・乾燥期間が続くと病勢は一時的に止まりますが、気温が下がり始める8月下旬以降に降雨が続くと果実での発病が激しくなります。また、台風など強風の影響でカメムシの被害が増加する恐れもあるため、これらの時期は病害虫予察情報に注意して防除を行ってください。

品目	防除時期	適用病害虫	防除法	使用基準	
				使用時期 (収穫前)	使用回数
平核無	8月下旬 ～ 9月上旬	うどんこ病・炭そ病・アザミウマ類・カメムシ類	ベンレート水和剤 アグロスリン水和剤	2,000倍 1,500倍	前日迄 前日迄
		※着色初期にミカンキイロアザミウマ類発生園では、ディアナWDG 1万倍(前日迄/2回以内)を加用する。			
富有	8月下旬 ～ 9月上旬	うどんこ病・炭そ病・カメムシ類・カキノヘタムシガ	ベンレート水和剤 アグロスリン水和剤	2,000倍 1,500倍	前日迄 前日迄



柑橘

仕上げ摘果とかん水に努めましょう

本年の紀北地域管内における着果量については平年並みとなつています。しかし園地によりバラつき見られます。着果量の多い樹は、摘果を行わないと果実が小玉傾向になり、樹への負担も大きいため、隔年結果は正と樹勢回復のため、仕上げ摘果をしっかりと行い、高品質果実生産に努めましょう。

●仕上げ摘果

8月は柑橘類の仕上げ摘果の時期です。樹勢維持や果実肥大の適正化、品質向上のため、粗摘果終了後、見落とした病害虫被害果や日焼け果などを中心に摘果しましょう。仕上げ摘果の時期と果実比は左記の表を参照してください。

品種	仕上げ摘果時期	葉果比
極早生温州(YN26、ゆら)	8月下旬	20葉に1果
早生温州(宮川、田口)	9月下旬	20～25葉に1果
普通温州(石地、きゅうき)	10月中旬	
はるみ	7月下旬～	100～120葉に1果
不知火	8月上旬～	
八朔・ネーブル	8月下旬～	80～100葉に1果

品種	時期	状態	かん水量(1回につき)
温州みかん	7月中旬～ 8月中旬	夕方に葉が巻いている	5ミリ (5トン/10a)
		明け方に葉が巻いている	10ミリ (10トン/10a)
	8月下旬～ 9月中旬	明け方に葉が巻いている	20ミリ (20トン/10a)
中晩柑	6月～9月	1週間以上降雨がない	20～30ミリ (20～30トン/10a)

●病害虫防除

防除時期	適用病害虫	防除法	使用基準	
			使用時期 (収穫前)	使用回数
8月中下旬	黒点病 アザミウマ類 カメムシ類 ミカンハダニ ミカンサビダニ	ベンコゼブ水和剤	600倍	みかん 30日前迄 カンキツ 90日前迄
		ダントツ水溶剤	2,000倍	前日迄
		ダニゲッターフロアブル	2,000倍	前日迄

※収穫時期の早い極早生みかん・グリーンレモン・早生ネーブルについては、ベンコゼブ水和剤に変えてナティーボフロアブル1,500倍(前日迄/3回以内)を散布する。

●特殊防除

防除時期	適用病害虫	防除法	使用基準	
			使用時期 (収穫前)	使用回数
発生時	カメムシ類	スタークル顆粒水溶剤 ダントツ水溶剤	2,000倍 2,000倍	前日迄 前日迄
台風襲来前	かいよう病	クプロシールド	1,000倍	規制なし
8月～10月 (発生前)	褐色腐敗病	レーバスフロアブル	2,000倍	前日迄

※大雨が予想される場合は、降雨直前または直後に散布する。

●かん水作業

8月は乾燥する日が多く園地が乾燥状態になります。干ばつ状態が続くと樹勢の低下の原因や食味への悪影響となります。樹勢を保つためにも、左記の表を参考に定期的なかん水を行いましょう。

●台風・かいよう病対策

台風の襲来により、幼木や高接ぎ樹などでは倒伏や枝折れが懸念されるため、支柱を立てて対策を行いましょう。また、強風雨に遭うと、枝葉や果実に傷が付く、傷口からかいよう病が発生するため、風当りの強い園地の風雨直前・直後防除を徹底しましょう。特に、ネーブル・はるみ・レモンなどは、かいよう病に弱いため注意してください。

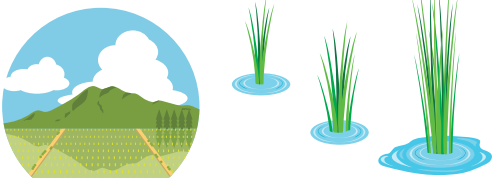
水稻

出穂前後の防除は確実に！

●豆つぶ防除体系

防除時期	適用病害虫	防除法	安全使用基準(10a当たり)		
			散布薬量	使用時期 (収穫前)	使用回数
出穂期～ 8月上旬	カメムシ類 ウンカ類 ツマグロヨコバイ	スタークル豆つぶ	250g	7日前迄	3回以内

湛水状態で散布し4～5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水やかけ流しをしない。
吸湿性のため濡れた手での作業や降雨時の散布はしない。



●基幹防除体系

防除時期	適用病害虫	防除法	使用基準	
			使用時期 (収穫前)	使用回数
出穂直前 8月上旬	いもち病 紋枯病 コブノメイガ ウンカ類 ツマグロヨコバイ	ダブルカットフロアブル	1,000倍	穂揃期迄14
		モンカットフロアブル	1,000倍	前日迄
		トレボン乳剤	1,000倍	14日前迄
出穂後 (穂がうつむき始めてから) 8月中旬	いもち病 もみ枯細菌病 カメムシ類	ブラシバリダフロアブル	1,000倍	14日前迄7
		スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日迄

カメムシ類多発田では、出穂10日前迄に除草を行い、出穂後防除終了約1週間後にスタークル顆粒剤を10a当たり3kg又は、スタークル豆つぶを10a当たり250g(7日前迄/3回以内)を散布する。

※スタークル顆粒水溶剤・スタークル粒剤・スタークル豆つぶは同じ成分「ジノテフラン」が含まれているため総使用回数が3回以内と定められています。
※ウンカ類・紋枯病防除として、薬剤散布の際には株元までしっかり薬液が掛かるよう散布する。

紀北地域の最新ニュース!



NEWS&TOPICS



6/5
THU

スモモ出荷

スモモの出荷が始まりました。早生品種「大石早生」は程よい甘みと酸味が特長です。

今年は3月の受粉時期に低温が続き、着果不良が見受けられましたが、果実肥大・食味ともに良好です。前年並みの約140tの出荷となりました。29日からは、コクのある甘さが特長の中生品種「サンタローザ」の荷受けが始まっています。



6/4
WED

梅トップブランド「南高」出荷

梅の主力品種「南高」の出荷を行いました。今年は平年より開花が遅れましたが、目立った病虫害被害もなく生育は順調です。前年比150%、約77tの出荷見込みで、チョーヤ梅酒株式会社や大阪の卸売市場を中心に、7月初旬まで出荷が続きました。

5/29
THU

6/13
FRI

柿の摘果 ハク皮講習会

柿の摘果・ハク皮講習会を各園地で開き、営農指導員が実演して説明しました。ハク皮処理は、専用のハク皮ハサミで枝の表皮の一部分をめくり取る作業で、葉で生成した養分が、根ではなく果実へ蓄積されるよう6月上旬から下旬に処理を行います。今後は降雨の影響で病気の発生が予想されるため、防除を徹底するよう呼びかけました。



5/28
WED

男の料理教室

第13期「男の料理教室」の第1回目の講座を開催しました。女性会の栗林照代さんを講師に迎え、ミートローフ・千草焼き・いもち・コーヒーゼリーの4品に挑戦しました。参加者同士協力して作り、完成した料理は各自持ち帰りました。参加者は「ほかの参加者に会うことも楽しみのひとつ」と笑顔で話しました。今期は全5回の講座を予定しています。



6/17
TUE

みんなの食堂へ食料寄贈 職員が調理に参加



かつらぎ東支店では、女性会や組合員に呼び掛けて集まった野菜を、みんなの食堂「もぐもぐカフェ」へ寄贈しました。

「もぐもぐカフェ」は、妙寺公民館で地域住民らが子どもたちに無料で食事を提供する取り組みです。毎月2回開催しており、昨年は累計1,800人の方がみんなの食堂に参加しました。大人も有料で参加でき、世代を超えた地域の集いの場となっています。

今回は職員が調理に参加し、牛丼やみそ汁などを作りました。参加した職員は「大人数用の調理は初めてで分量が難しかったが、食べてくれる人のことを思って心を込めて作った」と話しました。

6/20
FRI

JAカード10%割引 キャンペーンに向けたイベント開催

JAカード推進活動として、「8・9月限定 直売所利用10%割引キャンペーン」の周知をやっちゃん広場で行いました。

JAカード利用で通常5%割引ですが、8・9月は10%割引となるお得なキャンペーンを行っています。

JAカードを通じて、信用事業と直売事業の利用を促すことで、総合事業の魅力をお伝えしています。

本店・地域本部の職員15人が参加し、「お買物が10%お得になるJAカードはお持ちですか」などと来店客へ声を掛け、8件の申し込みを受け付けました。

6/19
THU

総代懇談会

合併後初となる総代懇談会を紀北地域本部大ホールで開きました。各事業担当のJA役職員が、令和6年度の事業報告や令和7年度事業計画、第1回通常総代会議案などを説明。

合併後のスケールメリットや肥料価格に関する質問があり、岩上副組合長や小川専務が回答しました。6月26日開催の第1回通常総代会に先立ち、総代の皆さまと直接対話し、意見を伺う貴重な機会となりました。





かきたん のおでかけ日記

5/20
TUE.5/22
THU.

学童農園



青年部いと支部が管理する九度山町安田島の学童農園で、地元の園児たちがサツマイモ苗の植え付けを体験しました。園児たちは、青年部から植え方を教わりながら苗を植え、優しく土をかぶせました。

これくらい大きくなるかな？



秋の収穫で待ってるよ～！



大きくなあれ！



水やりもしたよ



優しくそ～とね



いってらっしゃ～い！！

かわいい～！



子どもたちから大人気！

6/13
FRI.

アイガモ農法



橋本市恋野の水田でアイガモ農法に取り組む大西啓斗さんと、地元小学生・園児・福祉施設の利用者の皆さんが、アイガモのヒナ約60羽を放鳥しました。アイガモは雑草や害虫を餌とするため、除草や害虫防除の役割を担ってくれます。先生の掛け声に合わせてヒナを放ち、みんなで手を振り見送りました。



ライスセンターからのお知らせ

令和7年度産米の作業委託を下記の通りご案内いたします。
皆様のご利用をお待ちしております。

1. 委託作業の種類

①刈取り作業 ②乾燥調製作業 ③色彩選別作業

乾燥調製作業には色彩選別作業が付いています。

色彩選別が不要な場合は申込書にご記入ください。

2. 利用料金

①刈取り作業料金 26,000円/10a (税抜き)

※悪条件の場合は割増や作業をお引き受けできない場合があります。

②乾燥調整作業利用料金 (税抜き)

荷受時の水分量	利用料金/kg当たり
23%以上	48円/kg当たり
18%以上・23%未満	44円/kg当たり
15%以上・18%未満	28円/kg当たり
15%未満	20円/kg当たり

③色彩選別機利用料金 1kg当たり 18円 (税抜き)

(作業時期10月以降。色彩選別機のみ利用の料金です。)



申込締切 8月8日 (金)

各支店・資材センターに
利用要項・申込書をご用意しています。

法律相談会

8月22日 (金)

場所：紀北地域本部3階

時間：午後1時30分～5時まで

JAでは弁護士による無料法律相談を組合員及びご家族の方を対象に毎月開催しています。相談時間は30分以内で、秘密は厳守いたしますので、安心してお申し込みください。なお、定員となり次第締め切らせていただきます。

☐ お問合せ先／紀北地域本部総務生活課

☎0736-42-5172

☐ 組合への加入は最寄りの支店へご相談ください。

ローン相談会

8月3日 (日)・

8月24日 (日)・31日 (日)

☐ 場所／橋本支店 1階

☐ 時間／午前9時～午後4時まで

地域の方の住宅ローンなど各種ローンのご相談やお申込み受付を行っています。完全予約制となっていますので、ローンセンターまでお気軽にお問合せください。

☐ お問合せ先／ローンセンター

☎0736-33-2922



JAわかやま 紀北地域本部

紀北地域感謝祭

みんな待ってるよ～!

令和7年 **8月30日 土** 9:30～16:00

かつらぎ総合文化会館
「あじさいホール」
【住所：和歌山県伊都郡かつらぎ町丁ノ町2454】

農産物販売

**ご当地キャラの
ステージイベント!!**

キッチンカー

大道芸

詳細は次号の広報誌でご案内します!